

復習今日は先週の残りの証明を行なう。

ついでに.....

No.10 の問題 (I) の解答。問題の f, g, h にたいして、 $k[X]$ のイデアル (f, g, h) を I とおく。(じつは、

$$f = (X^2 + 3X + 5) \cdot (X^2 + X - 1)$$

$$g = (X^2 + X - 1) \cdot (X^3 + X - 1)$$

$$h = (X^2 + 3X + 5) \cdot (X^3 + X - 1)$$

であって、これに気づくと以降の話がずいぶん楽に進む。)

f, g についてユークリッドの互除法を行なうと、

$$l(X) = X^2 + X - 1 = \frac{1}{111}((5X^2 - 14X + 22)f(X) + (-5X - 1)g(X)) \in I$$

を得る。次に l, h についてユークリッドの互除法を行なう。

$$1 = \frac{1}{10}((4X^4 + 15X^3 + 34X^2 + 31X + 25)l(X) + (-4X - 7)h(X)) \in I.$$

このことから、 $I = k[X]$ がわかる。

.....

問題 12.1. (期限：次の講義の終了時まで。)

(I) (i) 多項式 $f, g, h \in \mathbb{Q}[X]$ を

$$f(X) = (X - 2)(X - 3)(X - 10),$$

$$g(X) = (X - 1)^2(X - 3)^2(X - 10),$$

$$h(X) = (X - 1)^2(X - 2)(X - 10).$$

で定める。このとき、

$$[\text{Case 1}] p(X) = 1$$

$$[\text{Case 2}] p(X) = (X - 10)$$

$$[\text{Case 3}] p(X) = (X + 1)(X - 10)$$

のそれぞれの場合について、

$$af + bg + ch = p$$

を満たす多項式 $a, b, c \in \mathbb{Q}[X]$ は存在するだろうか。存在するならばそのような a, b, c の例を挙げ、存在しないならばその理由を述べよ。

(ii) $\mathbb{Q}[X]$ のイデアル (f, g, h) を簡単にせよ。